

市内医療機関の皆様へ

横浜市保健所長 修理 淳

麻しん患者の発生について（情報提供）

日ごろから、横浜市の感染症対策にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

令和 7 年 2 月 25 日に、市内で麻しん患者が発生し、公共交通機関を利用していたことが判明したため、本日記者発表を行いました（資料）。すでに、横浜市保健所、近隣自治体の保健所とともに、対象者に対し対応を開始しておりますが、麻しん患者に接触した方が発症し、市内医療機関を受診することが考えられます。

つきましては、引き続き発熱や発疹を呈する患者が受診した際や、診断後の対応について、「1 発熱や発疹を呈する患者が受診した際」を参考に、ご対応いただきますようお願いいたします。

なお、患者の個人の特定につながる情報も含まれていますので、院内の情報共有に留めていただきますよう、お願いいたします。

1 発熱や発疹を呈する患者が受診した際

- (1) 麻しんを疑う患者が受診した場合、受診したい旨の連絡があった場合には、他の来院者等との接触を避け、院内感染防止対策に御配慮をお願いします。
- (2) 海外渡航歴や国内旅行歴、予防接種歴及び行動歴の確認など、麻しんを意識した診療をお願いします。
- (3) 麻しんを疑う患者を診察した場合は、速やかに、最寄りの福祉保健センターへご相談頂くとともに「横浜市における麻しん、風しん検査診断の実施について」に基づき、ご対応いただきますようお願いいたします。
 - ア 麻しん疑い例での国内における行動歴や予防接種歴の確認
 - イ 患者の症状から、麻しんを疑った場合には臨床診断例として直ちに最寄りの福祉保健センターへ届け出
 - ウ 検査診断の実施
 - ・ IgM 抗体検査
医療機関にて、実施をお願いします。
 - ・ PCR 検査
市衛生研究所で実施します。行政検査を実施する場合は、3 検体の採取・確保（咽頭ぬぐい液、尿、血液）をお願いします。

※ 麻しんを疑う患者の受診に備え、医療従事者の麻しん含有ワクチンの接種歴（2 回以上接種）を確認いただくようお願いいたします。

2 添付資料

- (1) 麻しん（はしか）患者の発生について（令和 7 年 2 月 26 日横浜市記者発表資料）
- (2) 「横浜市における麻しん、風しん検査診断の実施について」
- (3) 横浜市区福祉保健センター福祉保健課健康づくり係連絡先一覧

3 参考

- (1) 横浜市感染症情報センター
届出先と連絡先、届出基準、届出様式、検体採取方法等
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/kansen-center/doko/todoke.html#5ruizensu>
- (2) 医療機関での麻疹対応ガイドライン 第七版 (国立感染症研究所)
https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/medical_201805.pdf
- (3) 麻疹発生動向について (国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/222-disease-based/ma/measles/idsc/trend/575-measles-doko.html>

担当：横浜市医療局健康安全課
健康危機管理係（電話 671-2463）

麻しん（はしか）患者の発生について

横浜市内の医療機関から2月25日（火）に麻しん患者の届出があり、市衛生研究所における遺伝子検査でも陽性であることが確定しました。

保健所が患者の行動や接触者について調査したところ、周囲へ感染させる可能性のある時期に、公共交通機関を利用していたことが判明しました。

当該交通機関を同じ時間帯に利用された方で、利用後10日前後経ってから、麻しんを疑う症状（別紙）が現れた場合は、事前に医療機関に電話連絡の上、指示に従い受診してください。また、移動の際は、周囲への感染を拡げないよう、公共交通機関等の利用を避けてください。

【感染可能期間内に患者が利用した交通機関】

1 令和7年2月16日（日）

●東急東横線

午前6時57分 綱島駅乗車 → 午前7時18分 渋谷駅下車
午後10時00分頃 渋谷駅乗車 → 午後10時30分頃 綱島駅下車

●京王バス

午前7時29分 渋谷駅乗車 → 午前7時47分 幡ヶ谷駅下車
午後9時30分頃 幡ヶ谷駅乗車 → 午後10時00分頃 渋谷駅下車

2 令和7年2月17日（月）

●東急東横線

午前6時48分 綱島駅乗車 → 午前7時21分 渋谷駅下車
午後10時00分頃 渋谷駅乗車 → 午後10時30分頃 綱島駅下車

●京王バス

午前7時30分頃 渋谷駅乗車 → 午前7時50分頃 幡ヶ谷駅下車
午後9時30分頃 幡ヶ谷駅乗車 → 午後10時00分頃 渋谷駅下車

3 令和7年2月21日（金）

●東急東横線

午前10時台 綱島駅乗車 → 菊名駅下車
午後1時台 菊名駅乗車 → 綱島駅下車

※各公共交通機関へのお問い合わせは御遠慮ください。

患者の概要：20歳代 女性 予防接種歴：なし
経過等：2月上旬 タイから帰国
2月17日 発症日（発熱）
2月21日 咽頭痛、咳嗽出現し、市内医療機関を受診
2月24日 発疹出現
2月25日 麻しん診断・届出
2月26日 市衛生研究所が実施した遺伝子検査で麻しん陽性判明

【麻しん発生動向（本件を含まず）】※1 令和7年2月26日時点 ※2 令和5～6年暫定値、令和7年2月19日時点（国立感染症研究所）

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
横浜市	0	0	1	0	0	0 ^{※1}
全国	10	6	6	28 ^{※2}	45 ^{※2}	3 ^{※2}

【件】

<お願い>

報道機関各位におかれましては、感染症法の精神に基づき、患者及び患者家族等が特定されないことがないよう、格段の御配慮をお願いいたします。

お問合せ先		
横浜市保健所健康安全課長	赤松 智子	Tel 045-671-2442

麻疹(はしか)について

麻疹ウイルスによる感染症で、非常に感染力が強く、抗体がない人が感染するとほぼ100%発症します。

麻疹は、一度かかった人及び2回の予防接種により十分な免疫をもっている人は、発病する心配はないと言われています。

主な症状

- ・感染すると10～12日間の潜伏期間を経て、発熱、咳、鼻水など風邪のような症状が現れ、2～3日間発熱が続いた後に、39度以上の高熱と全身に赤い発疹がでます。
- ・症状が出現する1日前から解熱後3日くらいまで周りの人に感染させる力があります。

感染経路

- ・空気感染、飛沫感染、接触感染でせきやくしゃみ等の飛沫からだけでなく、麻疹患者と同じ空間にいるだけで感染します。

もし麻疹患者と接触したら？

- ・麻疹患者と最後に接触した日から21日間は毎日体温を測り、健康観察をしましょう。
- ・万が一、症状が現れた場合は事前に医療機関に連絡し、医療機関の指示に従って受診してください。移動は周囲への感染を拡げないように、公共交通機関等の利用を避けてください。

麻疹の予防方法

☑ワクチン

- ・麻疹はワクチンで予防できます。母子手帳などで接種歴を確認し、小学生以上の方で2回接種をしていない場合は、ワクチンを接種することをお勧めします。
- ・麻疹風疹混合(MRワクチン)は予防接種法で定期予防接種の対象とされています。対象となる方は、接種期間に適切に予防接種を受けましょう。

▶横浜市保健所「麻疹・風疹について」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/yobosesshu/kansensho/measles.html>

※夜間、休日の医療機関案内は、#7119、かながわ救急相談センター

045-232-7119、045-523-7119(24時間・年中無休)にご相談ください。

横浜市における麻しん風しん検査診断の実施について

1. 下記の症状・情報から麻しん・風しんを疑うときは
診察を終える前に区福祉保健センターに電話連絡・ご相談ください

●下記の臨床症状を3つ満たす場合は、届出を行ってください。

麻しん ①発熱 ②カタル症状（咳嗽・鼻汁・結膜充血等） ③麻しんに特徴的な発疹
※1つ以上を満たし修飾麻しんを疑う場合は、検査が必要になるため要相談

風しん ①発疹 ②発熱 ③リンパ節腫脹 ※届出基準を満たさない場合等のご相談ください

●患者情報（聞き取り内容）の確認

- ・年齢や性別、妊娠の有無 ・症状経過 ・海外渡航歴や流行地域への渡航
- ・感染源となった人、接触者 ・予防接種歴（回数・時期・ワクチンの種類）

2. 検査の実施

※厚生労働省「特定感染症予防指針」に基づく

●IgM抗体検査

- ・医療機関にて、実施をお願いいたします

●PCR検査（詳細は裏面参照） 市衛生研究所で実施します

- ・行政検査を実施する場合は、3検体の採取・確保をお願いいたします

①咽頭ぬぐい液 ②血液（全血） ③尿

※届出基準を満たさない場合のPCR検査の実施については各区福祉保健センターにご相談ください。

3. 保健指導

- ・感染可能期間中の外出自粛
麻しん：発症1日前～解熱後3日 風しん：発疹出現の前後7日間
- ・発生届が出された場合、区福祉保健センターから患者に連絡が入ること

4. PCR検査を実施した場合、区福祉保健センターからの検査結果報告後の対応

- ・臨床症状と検査結果を総合的に勘案し、診断をお願いいたします
- ・患者への結果の説明は医療機関からお願いいたします
- ・総合的状況を踏まえ、麻しん・風しんでないと判断された場合は、発生届の取下げをお願いいたします

各区の福祉保健センター福祉保健課健康づくり係TEL（市外局番：045）

青葉	978-2438	旭	954-6146	泉	800-2445	磯子	750-2445	神奈川	411-7138
金沢	788-7840	港南	847-8438	港北	540-2362	栄	894-6964	瀬谷	367-5744
都筑	948-2350	鶴見	510-1832	戸塚	866-8426	中	224-8332	西	320-8439
保土ヶ谷	334-6345	緑	930-2357	南	341-1185				

休日夜間等、時間外の連絡先：感染症・食中毒緊急通報ダイヤル（045-664-7293）

PCR検査検体を採取していただく際のお願い（注意事項）

1 検体を採取していただく際のご留意事項

(1) 咽頭ぬぐい液

- ・採取した綿棒を、空の（培地の入っていない）滅菌スピッツまたはウイルス検査用（ウイルス培地入り）のスピッツ^{注1}に入れ、柄の部分折りスピッツの蓋をしっかりと閉めてください。
- ・乾燥しないように、スピッツの蓋の周囲をテープなどで巻いてください。

**注1）細菌検査用（細菌用培地入り）のスピッツには入れないでください。
スピッツは長さ13cm以内のものを使用してください。**

(2) 血液

- ・抗凝固剤（EDTA又はクエン酸）入りの採血管^{※注2注3}に全血採取してください。
 - ・**2mL以上**採取をお願いします。
- 注2）ヘパリン入り採血管は使用しないでください。
注3）血清分離剤入りの採血管は使用しないでください。

使用可◎ ：一般血液検査[赤血球数、白血球数、血小板数等]（EDTA入り）
凝固系検査（クエン酸ナトリウム入り）
使用不可×：生化学検査[タンパク、脂質、電解質]（プレーン管）
血清学的検査[血液型、梅毒反応、感染症血清反応等]（プレーン管）

※麻しん・風しんの検査診断にあたっては、血清学的診断も重要となります。

お手数ですが、貴院からIgM抗体検査を民間検査機関等に依頼いただき、結果が判明しましたら区福祉保健センターに情報提供をお願いいたします。

（横浜市衛生研究所では、PCR検査のみの実施となります）

(3) 尿

- ・貴院所有の尿専用スピッツ（長さ13cm以内）に、**10～20mL**程度採取してください。

2 検体の受領について

- ・回収に伺うまで、検体は**冷蔵（4℃）**で保存をお願いいたします。
- ・検体を採取したら、区福祉保健センターに御連絡をお願いいたします。

3 その他

- ・大変申し訳ありませんが、スピッツや綿棒などは御提供ください。

感染症発生届 届出先（連絡先）一覧

各区福祉保健センター福祉保健課健康づくり係

福祉保健 センター	FAX番号	【電話番号1】 開庁時間 (平日8:45~17:15)	【電話番号2*】 平日17:15~翌8:45 土日・祝日の終日 12/29~1/3の終日
鶴見区	510-1792	510-1832	横浜市感染症・食中毒 緊急通報ダイヤル 664-7293
神奈川区	316-7877	411-7138	
西区	324-3703	320-8439	
中区	224-8157	224-8332	
南区	341-1189	341-1185	
港南区	846-5981	847-8438	
保土ヶ谷区	333-6309	334-6345	
旭区	953-7713	954-6146	
磯子区	750-2547	750-2445	
金沢区	784-4600	788-7840	
港北区	540-2368	540-2362	
緑区	930-2355	930-2357	
青葉区	978-2419	978-2438	
都筑区	948-2354	948-2350	
戸塚区	865-3963	866-8426	
栄区	895-1759	894-6964	
泉区	800-2516	800-2445	
瀬谷区	365-5718	367-5744	
*コールセンターで承り、担当職員に連絡いたします。			